

NETZ TOYAMA Racing

Race Report 2026 / Vol.3

大会名称	TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Race 2026 Pro Rd.2
開催日程	2026.4.5
場 所	スポーツランド SUGO
参加車両	# 123 NETZ TOYAMA Racing GR86
ドライバー	松井 孝允
参加台数	32 台
予選順位	2 位
決勝順位	6 位

前回ポイントを獲得し、その勢いのまま挑んだ第2戦がスポーツランド SUGO で開催されました。

予選

今回のレースウィークは都合により木曜日の走行ができなかったため、専有走行を1本走ったのみで予選に挑むこととなりました。

予選前、他車のセッション中にコース上へオイルが流出したことで赤旗が提示され、その影響がどう出るか分からない状況でのスタートとなりました。

予選開始直後は各チームが牽制し合い、アタックを開始しない時間が続きましたが、当チームは少し余裕を持って残り7分ほどのタイミングでコースイン。アタックを開始しました。セクター1でわずかに滑ってしまったものの、残りのセクションをしっかりとまとめ上げ、その時点でトップタイムを記録します。

その後、後続のマシンが続々とアタックを行いましたが、当チームのトップタイムは変わらず、「このまま念願のポールポジションを獲得できるか」と思われました。

しかし、最終的に1台にタイムを上回られ、惜しくも2位で予選を終えました。

決勝

昨年、同サーキットで発生したタイヤのバースト対策として今回は内圧調整を施してレースに挑んだ。スタートをきれいに決め、アクシデントに巻き込まれることなく1コーナーを通過する。

しかし、装着しているタイヤの特性上、ロングランのペースで劣勢を強いられ、ブリヂストン（BS）製タイヤを使用する後続の4台に先行を許してしまう。

このままプッシュを続けても、挽回できるのは良くて1ポジションという状況だった。さらに、同じタイヤを使用する他チームが相次いでタイヤバーストによりリタイアしたことを受け、チームは作戦を変更。

無理な追撃を避け、タイヤを最後までマネジメント（温存）する戦略に切り替えた。

この判断が功を奏し、最終的にタイヤを破裂させることなく、6位でチェッカーを受けた。